

理科

理科における指導の重点（身に付けさせたい力） ※学習指導要領に照らし合わせて	
ア 知識及び技能	イ 思考力、判断力、表現力等
<ul style="list-style-type: none"> 自然の事物、現象に理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などの基本的な技能を身に付けること。 	<ul style="list-style-type: none"> 観察、実験から得た結果から、課題を見付けだし、探究する力を付け、自分の力で表現できること。

	生徒の学力の状況（課題）	授業における具体的な手だて	手だての実施時期	成果検証（2月）
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> 観察・実験に必要な技能が、知識としてあっても実践する力がない。ア 観察・実験の結果を得ることはできるが、結果を分析、解読してく力に欠ける。イ 	<ul style="list-style-type: none"> 観察・実験の前に、動画を利用し手順を理解させてから実験・実習を行う。ア 観察・実際の結果を使い、指導する。課題を見つけたとき、注目すべき点も指導する。イ 	<p>2学期から実施。ア</p> <p>2学期から実施イ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 事前の実験手順動画を活用した結果、実験技能が向上し、目的とする結果を得られる班が6割→9割になった。ア レポート作成することで、結果を班員で話し合い、分析する力が身に付いた。その結果、テストの記述問題の回答率が上がった。イ
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> 自然の事物・事象に関心はあるが、理解が深まっていない。基本的な技能は身に付きつつある。ア 結果を整理できるが、結果が示す科学的根拠につなげる考察力が十分ではない。イ 	<ul style="list-style-type: none"> 「なぜ」「どうしてそうなるのか」に注目して考え方を学ばせる。ア 実験のまとめを、ロイロノートを活用し、全体で共有・比較することによって、明確な根拠をもった考察につなげる。イ 	<p>2学期から実施。ア</p> <p>2学期から実施イ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 定期テストの結果、第1回56.1→第3回61.3ポイントに改善した。ア 明確な根拠を示すことはできたが、考察につながらない部分あった。イ
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> 実験の基本的な技能は身に付けているが、指示薬の変化が示す結果を理解するための知識が身に付いていない。ア 結果を整理することはできるが、結果が示す科学的根拠につなげる考察力が十分ではない。イ 	<ul style="list-style-type: none"> 実験や観察の結果を各自で撮った写真とともにまとめさせることで、指示薬の変化を視覚的にも理解させる。ア 各自の実験のまとめを、ロイロノートを活用して、他の生徒のものと共有することで、明確な根拠をもった考察につなげさせる。イ 	<p>2学期から実施。ア</p> <p>2学期から実施イ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 定期テストの結果、第1回66.1ポイント、第2回70.1、第3回71.7に改善した。ア 定期テストの結果、第1回56.9ポイント、第2回57.3、第3回58.6に改善した。イ

■「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体化な充実に向けた一人一台端末等の ICT の効果的な活用について

- 1年 Google Slides を活用したプレゼンテーション活動【重点：個別】
- 2年 ロイロノートの提出箱を使った意見・情報共有【重点：協働】
Google Slides を活用したプレゼンテーション活動【重点：個別】
- 3年 ロイロノートの提出箱を使った意見・情報共有【重点：協働】

■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫等、「学びに向かう力」の育成に向けた取組について

- 1年 ルーブリックの活用 復習動画、スライドの配信
- 2年 ルーブリックの活用 振り返りシートを活用した考えの共有
- 3年 ルーブリックの活用
ロイロノートを活用した考えの共有